一般社団法人
日本ガス協会

2025年大阪・関西万博「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」
万博レガシーを倉敷市に寄贈

2025年11月17日
一般社団法人日本ガス協会

一般社団法人日本ガス協会は、2025 年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）の「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」（以下、「ガスパビリオン」）で使用した機器や新素材「SPACECOOL（スペースクール）」等の一部を、万博レガシーとして倉敷市に寄贈することとし、本日、寄附採納式に参加しました。

記

１．寄贈の概要

寄贈品は、夜間のライトアップでカーボンニュートラルな炎を演出した照明器具、暑さ対策として設置したドライミスト、ガスパビリオンの外膜に使用した放射冷却素材「SPACECOOL」※1の 3 点です。

※1 太陽光と大気からの熱を遮断し熱吸収を抑えるだけでなく、放射冷却技術の原理により宇宙に熱を逃がすことで、ゼロエネルギーで外気より低温にする新素材。大阪ガス株式会社が開発、SPACECOOL 株式会社が製品開発・販売

【寄贈品】カラーキネティクス社製照明器具（屋外照明、制御盤、付属機器）
ドライミスト（ノズル、付属機器）
ガスパビリオン外膜素材「SPACECOOL」

【用　途】倉敷市児島地区公共施設再編整備事業において再利用予定

ガスパビリオンの外膜に「SPACECOOL」を使用

照明器具でカーボンニュートラルな炎を演出

11 月 17 日、倉敷市役所で執り行われた「寄附採納式」の様子
（左から伊東倉敷市長、日本ガス協会 桑名総務部長、同 金澤ガスパビリオン館長、
株式会社奥村組 三村広島支店長、同 中川所長）

日本ガス協会は、2050 年の都市ガスのカーボンニュートラル化実現に向けた取り組みを進めています。

ガスパビリオンの建築においても、コンセプトである「化けろ、未来！」のもと未来の環境への貢献と万博終了後の「化ける、建築」を目指し、3R に積極的に取り組み、主要な構造部材をリース材料で構成するとともに、建材・設備の再利用や再生利用の検討をすすめてきました。

引き続き、「化けろ、未来！」に込めた思いを継承し、都市ガス業界全体でカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

以上

お問合せ先:一般社団法人日本ガス協会 広報室（03-3502-0112）